

KN グローカルリサーチレポート

2021年6月
No.62



毎日、曇や雨の日が続きます。東海地方の梅雨入りは平年より 21 日も早い 5 月 16 日頃でした。平年と比べて太平洋高気圧の勢力が強く、梅雨前線が本州付近まで押し上げられている事に因ります。

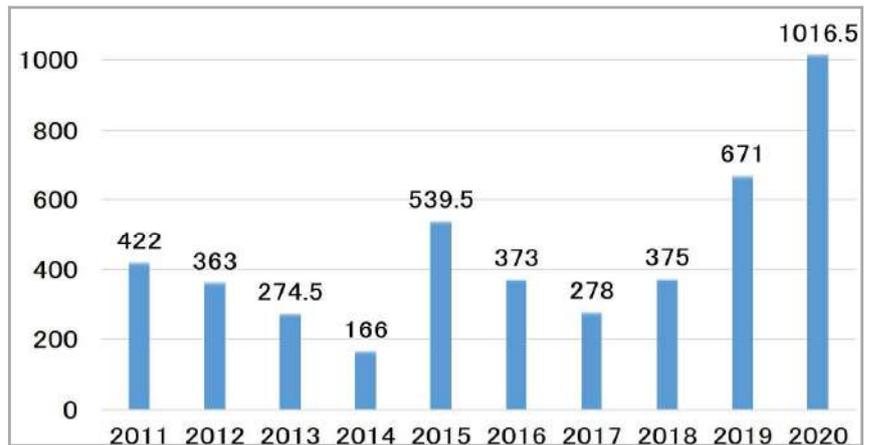
■表1 東海地方の梅雨

年	入り	明け	降水量の 平年比(%)
2011	5/22	7/8	103
2012	6/8	7/23	102
2013	5/28	7/7	67
2014	6/4	7/21	59
2015	6/3	7/24	134
2016	6/4	7/28	89
2017	6/21	7/15	67
2018	6/5	7/9	108
2019	6/7	7/24	137
2020	6/10	8/1	193
平年	6/6	7/19	

気象庁の統計より作成

■図1 浜松の梅雨の期間の降水量

単位:mm



気象庁の統計より作成 浜松観測所(浜松市中区三組町)のデータ

表1は過去10年間の東海地方の梅雨の状況で、図1はの浜松の梅雨の降水量です。5月に梅雨入りした2011年と2013年は早い梅雨明けでした。昨年は8月1日が梅雨明けとなり、浜松では平年に比べて3倍弱の雨が降りました。今年はどうなるのでしょうか？ 民間の予測では梅雨明けは平年より早く、降水量は平年並みか多い傾向に有るとしています。しばらくは、湿度の高い日が続きます。

【防災マップやハザードマップを確認を】

梅雨前線が活発になると、局地的に雷を伴った大雨になります。強い雨による道路の冠水や河川の氾濫、土砂災害などが心配です。

今一度、ハザードマップなどで身近な地域の災害危険区域を確認しましょう。また、停電や断水などにも備え、水や保存食などを準備しましょう。

■浜松市のハザードマップの種類

A) 洪水ハザードマップ：主要河川の流域の洪水
天竜川流域、馬込川・芳川流域、安間川流域、都田川、二俣川、阿多古川、井伊谷川、釣橋川、気田川、水窪川

B) 土砂災害ハザードマップ例：地滑り、土石流、急傾斜地の崩壊など
中区、東区、北区、西区、南区、浜北区、天竜区

C) 内水ハザードマップ例：集中豪雨の浸水
新川・曳馬川流域、高塚川流域



【全国地震動予測地図】

大雨と共に、地震への備えも重要です。先日、政府の地震調査委員会から「全国地震動予測地図2020版」が発表されました。

図2の『確率論的地震動予想地図』を見ると、静岡県地域は、30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率は70%となっています。

図3は『活断層一覧』です。静岡県西部地域には活断層は見つかっておらず、直下型の地震の心配は無いようです。

図2 確率論的地震動予想地図

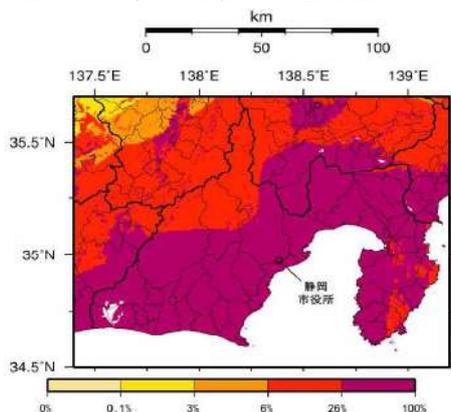
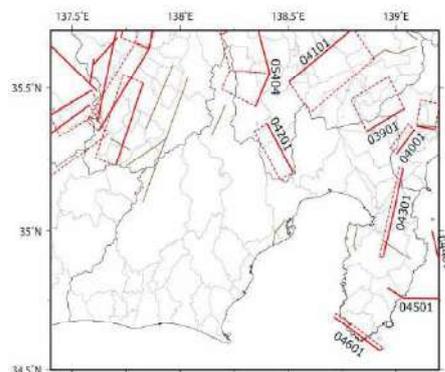


図3 活断層一覧



火災保険の補償範囲

一般的な火災保険は日常生活での火災に加え、台風や洪水等の自然災害で家が壊れたり家財が使えなくなった場合も補償される（地震を原因とした火災や津波の被害へは地震保険に加入していなければ補償されない）。

図4 火災保険の保険金支払額

『損害保険料率算出機構』の資料より



『損害保険料率算出機構』が今年の4月に発表した統計によると、火災保険の保険金支払額はここ数年増加しており（図4を参照）、2018年度は7,079億円と大幅に増えている。この年は、「7月豪雨」や、暴風で関西空港連絡橋にタンカーが衝突した「台風21号」や、強風により浜松地域約26万戸が停電した「台風24号」などの災害が多発した。更に、2019年は台風15号や19号の被害で推計8,995億円、2020年度は7月豪雨や台風10号、1月の豪雪で推計1948億円の保険金の支払いとなっている。

このように、保険金支払額が増加しているため、今年1月の保険料の値上(6~8%)に加え、2022年度も10%程度の値上と、契約期間の最長も10年から5年に短縮されるようだ。

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org